



明日へ

学校教育目標

自律:自ら考え、判断し、行動する生徒

尊重:自他を理解し、協働する生徒

創造:健全な精神と豊かな発想で、創意工夫する生徒

学校テーマ

～みんなで創る！ 夢・実現する学校～

「深夜はいかい防止」

～豊見城市青少年育成市民会議ラジオ放送～

豊見城市青少年育成会議主催による「深夜はいかい防止」「水難事故防止」「交通事故防止」に関する市民大会が毎年開催されており、市内小中学校、高等学校の代表者が意見発表のラジオ収録がありました。

本校からは名嘉元 梨陽さん(3年2組)が「深夜はいかい防止」について意見発表を行いました。「深夜徘徊から持たせられる危険性」、「人は十人十色。自身や周りの人、未来のための大切行動」について、中学生目線での素晴らしい内容になっています。

下記に梨陽さんの意見文を紹介します。(原文通り)



皆さんは「深夜」と聞いて何を思い浮かべますか？昼間とは違う異世界にきたような街中の雰囲気、大人になったような感覚、不良っぽくて格好いいなどの高揚感から、魅力を感じる人もいないでしょうか。しかし、このような理由から、深夜に出歩くこと、つまり「深夜徘徊」をすることは各県で問題視されています。沖縄県では、主に未成年者が正当な理由もなく、午後10時～翌朝4時までの間に外出することが制限されており、これは、私達が自分自身を守るために必要なルールの一つです。

ではなぜ、未成年者の深夜徘徊が禁止されているのでしょうか？主な理由として3つ挙げられており、1つ目は、深夜の「危険性」です。深夜の時間帯は、街や道の明るさも次第に消え、人通りが少なくなるなど、犯罪行為が起こりやすくなっています。そのため、日中と違い、恐喝や暴行、詐欺などに巻き込まれるリスクも高くなっています。

2つ目は、成長の阻害や学習面・健康面への影響です。深夜徘徊によって、眠る時間が遅くなると、その分、心身の成長の妨げにもなります。また、集中力や免疫力が低下し、さらに、判断力も低下することで、より歯止めが利かなくなってしまう恐れもあります。

3つ目は、非行へのきっかけです。深夜徘徊が続くことで、次第に飲酒や喫煙、窃盗・傷害と非行や犯罪行為へとつながり、自分自身が加害者へとなる可能性が増えてしまうこともあります。

このように、深夜徘徊は様々なリスクをはらんでおり、心身の健康のためにも生活リズムを整えるなど、基本的な生活習慣を身に着けることも大切になってきます。例えば、早めの就寝時間を決めておくなども、深夜徘徊をせず、より良い暮らしを送るための対策としてよいかもしれません。

最後になりますが、「十人十色」といわれるように、人はそれぞれ色を持っていると言われています。色は、その人が辿ってきた人生を表し、善い行いをした者、その逆の行いをした者には、それぞれの色が染まっていきます。私達の色は、今まさに染まっている最中なのです。より美しく、より輝く色にするために、自分自身の行動を見直し、自分のため、周りの大切な人のため、未来のために、自身を大切に作る行動を心がけていきましょう。